

学 校 概 要

○創立年月日 昭和51年4月1日 ○創立年数 40年目 ○校長名 川井 伸司 ○副校長名 赤坂 桂
○学級数 一般級12学級 個別支援学級2学級 ○児童数 298名 ○小中ブロック校名 山内中学校

学 校 教 育 目 標

「笑顔、輝き、勇輝」を「も・と・い・し・か・わ」でつくります。
(も) もっと知りたい。もっとうまくなりたい。いつも学ぶ姿勢を大切にします。(知)
(と) 友だちづくりはあいさつから、仲間と助け合い、協力してやりとげます。(徳)
(い) いつでも進んで運動したり、友だちと協力して健康・安全に気をつけたりします。(体)
(し) 自分のよいところや友だちのよいところを進んで見つけます。(徳)
(か) かかわり合いを大切にします。積極的に地域や地域の人たちとかかわります。(開)
(わ) 私たちのまちの人やものを大切にします。(公)

学 校 経 営 中 期 目 標

(知) 興味と関心を広げ、自分から課題を見つけ、課題解決に向けて、粘り強く取り組む子どもを育てます。
(徳) 他者の気持ちを考え、互いに尊重しあって生活する子どもを育てます。
(体) 心と体の健康を守ることに関心を持ち、望ましい生活習慣を身につけた子どもを育てます。
(公) 地域との関わり合いを大切にし、地域から学ぶ子どもを育てます。
(開) 人とのコミュニケーションを通して、広い視野を持った子どもを育てます。

学校経営
中期目標
設定理由

昨年まで「自分の思いや考えを豊かに表現し、伝え合う子の育成～目的と相手意識を明確にした「話す・聞く」力の指導を通して～」と研究主題を位置づけ、国語科を通して子どもたちの学びを高めてきた。この研究を通して、今の元石川小学校の子どもたちに必要なこと、身につけさせたいことを考えた。その結果、「互いを認め合える心を育てること。」「自分の気持ちを相手に伝える力を身につける。」「相手の気持ちを考える力や伝え合う力育てること。」この3点が大切であることがわかった。そこで「伝え合う力」を育てるために、学校経営の中期目標を上記のように設定した。

小 中 一 貫 教 育 推 進 ブ ロ ッ ク 目 標

共通目標

授業や研究協議を通じて、小学校と中学校での指導観を共有し互いに理解を深め合う。

自校の取組

児童生徒の交流や教職員の連携・交流を通して、児童が安心して中学校に進級できるよう連携を強化する。

共 通 取 組 内 容

1

確かな学力

もっと知りたい。もっとうまくなりたい。
いつも意欲的に学ぶ態度を育てる。

2

豊かな心

自分のよいところや友だちのよい所
を進んで見つけ、互いを認め合える力
を育てる。

3

健やかな体

いつでも進んで運動したり、友だちと協
力して健康・安全に気をつけたりする。

重 点 取 組 分 野

国語力の育成

○互いに認め合える心を育てるため「伝え合う力」の育成を行う。
○発達段階に応じた話し方聞き方のルールを身につける。

特別支援教育

○児童支援専任教諭を中心に、児童の変化にいち早く気付き、児童の安心・安全を作る。
○特別支援教室担当教諭を配置し、一人ひとりのニーズに合わせた教育を行う。

児童指導

○元石川小スタンダードに従い、学校生活のルールを徹底し、安全・安心して生活できる学校生活を作る。
○プロジェクト体制で組織的に、対応する。保護者連携を強化する。

保護者・地域連携強化

○はぐくみの会との連携共同で子どもを育てる。
○地域の環境をかんがえ、地域の人とともに学ぶ。
○計画的な単元開発と教育実践の整理。
○地域行事への積極参加。

人 材 育 成 ・ 組 織 運 営

- 人材育成とチーム力での課題解決に向けて、プロジェクト体制での取り組みをさらに推進する。
- ・ 組織としての取り組みを通して、学校運営の一員であるという自覚を高める。
- ・ 自ら課題を見つけ、自らその方策を見つけ、実践して課題解決に当たる。
- ・ 課題共有を通して、校務の内容や課題解決の方策を学ぶ。
- ・ 課題解決に向けては常に①学年、②プロジェクト、③ケース会議、④職員会議の4段階での話し合いを経て、対策を決定し実行する。
- 教職員の研修を重視し、計画的に分野を決めて研修を実施する。